

井原市教育委員会 9 月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 令和6年9月17日(火)
2. 開 会 令和6年9月27日(金)15時00分
3. 閉 会 令和6年9月27日(金)16時52分
4. 会議の場所 井原市役所403会議室

5. 出席又は欠席した委員

出席委員	教 育 長	伊 藤 祐二郎
	教育長職務代理	藤 井 秀 彦
	委 員	奥 田 隆 夫
	委 員	西 田 友 美
	委 員	服 部 教 弘

6. 会議に出席した職員

西村教育次長 高田参与 田中生涯学習課長  
藤井学校教育課長補佐 岡崎教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

【報 告】

- 報告第16号 教育委員会委員の任命について
- 報告第17号 令和6年度井原市一般会計補正予算（第3号）について
- 報告第18号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 報告第19号 令和6年度岡山県学力・学習状況調査の結果について

【議 案】

- 議案第14号 井原市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 議案第15号 井原市立学校管理規則の一部を改正する規則について
- 議案第16号 井原市就学前教育・保育施設のあり方検討委員会設置要綱について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

(1) 開 会

- ・伊藤教育長が開会を宣言  
ただいまから、9月定例会を開会いたします。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【伊藤教育長】前回会議録の承認、公開について事務局から説明をお願いします。

【岡崎教育総務課長補佐】8月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいて

おります。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしくお願ひします。

なお、議案第13号は人事案件のため、また、協議事項は、会議規則第15条第1項第6号を適用し、非公開としております。

【伊藤教育長】事務局からの説明に、ご異議ございませんか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】ご異議なしということで、処理させていただきます。

### (3) 教育長の報告事項

【伊藤教育長】次に報告事項に移ります。私の方で資料を用意させていただいております。

— 文部科学省アントレプレナーシップオフィシャルサイトより

「アントレプレナーシップ教育」について説明 —

### (4) 議 事

附議事項

#### 【報 告】

#### □報告第16号 教育委員会委員の任命について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

#### □報告第17号 令和6年度井原市一般会計補正予算(第3号)について

【伊藤教育長】次に、報告第17号 令和6年度井原市一般会計補正予算(第3号)についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【岡崎教育総務課長補佐】それでは、報告第17号について説明いたします。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ご意見、ご質問はありませんか。

【伊藤教育長】ないようですので、報告第17号についてはご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第17号については、承認することといたしました。

#### □報告第18号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

【伊藤教育長】次に、「報告第18号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

【藤井学校教育課長補佐】それでは、報告第18号の説明を申し上げます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ただ今報告のあった議題に対するご質問はありませんか。

【藤井職務代理】学年によっても変わると思いますが、昨年の6年と今年の6年との比較ではなく、昨年の5年と今年の6年とで、この学年で考えると、どうでしょうか。

【藤井学校教育課長補佐】昨年度の小学5年は、県学力テストの標準スコアは、国語50、算数48でしたので、少し低かったのかなと思います。昨年度の中学2年は、県学力テスト標準スコア国語50、数学50でしたので、それから考えると、落ちていると言えます。

【奥田委員】数と計算だから、基本的なところが全国と比較しても、大きくマイナスとなっていますね。

【藤井学校教育課長補佐】数学でいえば、その部分が極端に数値が悪いので、基礎基本の定着が不十分であることが考えられ、基本的な学習時間を確保していかないといけないと考えています。

【奥田委員】そうなる問題になるのが、家庭での学習時間ですね。これも小学校は岡山県の数値と比較して大きく開きがあり、中学校は県での差はマイナスでなくとも、全国と比較するとマイナスといったデータが出ています。そのあたりから考えると、基本的にしなければならないことが、できていないのかなと思います。基本的な問題を解く時間や学習時間を確保していかないといけないと思いますね。

【藤井学校教育課長補佐】そのあたりと、主体的な学びとの兼ね合いと言いますか、45分の授業の中でのバランスを再考していかないといけないと思います。

【奥田委員】それと家庭での学習時間、量の問題ですよ。その内容において、中学校も宿題という形で出ているんですよ。

【伊藤教育長】このテストは4月に実施しているので、ある意味、昨年度の取組の成果だと思っています。家庭学習の時間は、やはり課題かなと思います。結果を見て意外であったのは、中3の岡山県は、国語も数学も、全国より平均正答率が良いという結果が出ています。ところが、家庭学習の時間は、全国より岡山県の方が少ないというデータとなっています。単純に時間だけが影響しているとも言えないのかなとも読み取れます。宿題の出し方といったところに目を向けていかないといけないのかなと思いますね。

【西田委員】小学校と中学校とでは、課題の取組方が違うことも要因となっているように思います。小学校は、継続的に宿題を出されて、毎日取り組んでいます。中学校は、週末課題として出るので、生徒によっては一度にしてしまうなど、毎日の学習の取組方に差が出てくると思います。やはり、毎日の継続と反復が大切なんだなと感じます。そういったところが、結果に現れているのかなと思います。

【伊藤教育長】中学校の場合は、教科担任制ということもあり、週末課題という形をとることが多くなります。生徒にとっては、どの教科からもどさっと課題が出て多い日もあれば、少ない日もあります。生徒が、計画的に取り組んでいくことが必要です。宿題だけでなくプラスの学習が大切になってきます。小学校でも、宿題と自主学習といった出し方をしています。

【服部委員】新聞社で分析されていたのを読みましたが、新聞を読んでいる習慣のある子の

方が、国語だけでなく、論理的思考を必要とする数学にも強くなると言われてました。学校でも時事的な内容のことに触れ、子どもに興味を持たせることが大切なのではと思います。幼稚園の先生が、よく子ども達に、時事的な話を園児にしてくださっている場面を見ます。日々の中でいろいろな問題を話すことで、子ども達が、アンテナをはって、いろいろなところに関心が向くのが良いのだと感じます。

【奥田委員】教育の中には、新聞を活用する例もありますよね。

【服部委員】新聞社の方でも、部活で作った新聞のコンテストをされるなど、工夫されていますね。いろんなどころに関心を広げることが大事なんだろうと思います。

【西田委員】ただ、最近では、新聞を取られない家庭も多くなっていますね。

【服部委員】学力・学習状況調査の結果の分布図のようなものはどうなってますでしょうか。

【藤井学校教育課長補佐】ふたコブまでにはなっておりませんでした。二極化は、今のところ見られないと認識しております。

【伊藤教育長】平均正答率なので、問題は17から18問、国語で言えば14から15問と少ない問題数の中に、難しい問題、易しい問題があります。井原市の結果を見ますと、まずは基礎基本の定着が必要だと感じました。県の方向性や、昨年度の結果から、主体的な学びを重視し、授業中に友達と意見交換するなどといったところに力を入れてきましたが、それも必要なんですけれども、定着に特化したものも要ることが見えてきます。

【奥田委員】「委ねる委ねる」と言いますが、それだけだと基礎基本がどうなるんだと、45分の授業の中で、主体的な学びと、基本的な学習の定着、どう時間を配分していくか、重点をどこにおくか、現場の先生の悲鳴が聞こえるようです。この学年は、基礎基本がいるですとか、子どもに考えさせたいといった、データをもとに、その学年の特色といいますか、実態を捉えて、個に応じた対応をしなければならないですし、細かな指導が必要になってきます。難しいですね。

【藤井学校教育課長補佐】小学校の低学年は基礎基本を、高学年、中学校になるにしたがって、主体的な学びをと、発達段階に応じて、その学年の実態に応じて、対応を考えていく必要があると考えています。

【西田委員】土台となる基礎基本が大事なんですね。

【藤井職務代理】主体的な学習という、理想に行く前に、基礎が整っていないなければならないということですね。

【伊藤教育長】県も基礎はマストと言いますが、主体的な学びも身に着けていかなければなりません。結果から、主体的な学びに行き過ぎている、定着ということを意識する必要があると認識しております。

【伊藤教育長】それでは、ほかはないようですので、報告第18号は、ご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第18号については、承認することといたしました。

□報告第19号 令和6年度岡山県学力・学習状況調査の結果について

【伊藤教育長】次に、「報告第19号 令和6年度岡山県学力・学習状況調査の結果について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

【藤井学校教育課長補佐】それでは、報告第19号の説明を申し上げます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ただ今報告のあった議題に対するご質問はありませんか。

【奥田委員】質問紙調査の結果のところから感じるのですが、小学5年生は、その学年に課題があるのでしょうか。

【藤井学校教育課長補佐】小学5年の調査結果ですが、実際には、小学4年の1年間を考えるとになります。小学4年の1年で考えると、市内で崩れてしまっている学校はあり、考えないといけないところではあります。

【藤井職務代理】2の学力調査の状況の見方ですが、同一集団の経年比較ということでしたら、令和4年、令和5年、令和6年と同じ学年で比較しているということでしょうか。

【伊藤教育長】お見込みのとおりです。学年が上がるにつれて、スコアが下がっている場合が多い状況です。

【西田委員】問題の傾向は毎年同じなのでしょうか。問題によって変化することはありますでしょうか。

【藤井学校教育課長補佐】偏差値ですので、正答率というよりは、同じ母集団の中での位置が下がっていると言えます。

【伊藤教育長】平均正答率で見ているのであれば、問題によってと言うこともあるのですが、これは標準スコアで見ているので、全体的な位置づけで見ていると言えます。

【服部委員】3の質問紙調査の結果で⑦の夢や目標の欄ですが、一生懸命する層としない層の差があるのでしょうか。本市では、ひとつくり事業に力を入れているので、分析する必要があるのではないかと感じます。

【奥田委員】質問に対する子どもの取り方も影響していると思います。子どもが夢や目標をどう捉えているかで、「当てはまる」に該当すると考える子とそうでない子にわかれるように思います。先生は、この調査の時に、どのような説明をされているのでしょうか。それによっても、だいぶ結果は変わってくるように思います。

【藤井学校教育課長補佐】確かに、子どもによって、夢や目標の捉え方に違いがあると思います。将来の夢といっても、その将来をどう捉えるかで変わってきます。例えば、高校生になって、サッカーを頑張るでも立派な夢だと思いますが、それも「当てはまる」と子どもが思っているのか、職業をバチッと決めてなくていいのですが、子どもは職業がわからないでもいいと捉えてないのではないかと思います。

【伊藤教育長】⑧の自己肯定感のところも、どの学年も低く、控えめな回答ですが、これは

井原市の子の特徴かなと思います。自分にいいところがあるということに対して自信が持っていない、これが、⑦の夢や目標にも繋がっている部分もあるのかなと思います。

【奥田委員】担任の先生の人生観も影響してくるのでしょうか。肯定される毎日と、叱られる毎日、その毎日の積み重ねは大きいと思います。

【伊藤教育長】学校で先生に褒めてもらうことが関係してくるかもしれませんが、同じように、家庭のあり方も大きいかもしれないということもあるのかなと思います。

【西田委員】⑦の夢や目標に関して、井原市の場合は、学校がしてくださっていることは、胸をはっているのではないかなと思っています。昔の総合学習を思うと、今のひとつづくりの学習は、可能性も広がって、子ども達も生き生きとしているように感じます。なので、これから⑦の夢や目標の数値は上がってくるのではないのでしょうか。

【伊藤教育長】学校も、意識しながら取り組むことが大切ですが、家庭、地域も意識しながら、連携して褒めていくことが大事だと感じております。

【奥田委員】今進めているコミュニティスクールですが、子ども達が地域の行事にどんどん参加している姿を見て、「すごいね。ありがとう」とか、「君たちも地域のために、役立っているんだよ」とか、「地域の活性化のために、君たちも頑張っているんだよ」とか、地域も子どもを応援していくような声掛けをしていけば、子ども達も自己肯定感が上がっていくと思います。新しい組織があるのだから、そういったものも活用できたらいいかなと思いますね。

【伊藤教育長】こうしたデータ、数値を基に、そういう意識を持っていく必要はあると思います。

【伊藤教育長】それでは、ほかはないようですので、報告第19号は、ご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第19号については、承認することといたしました。

#### □議案第14号 井原市文化財保護審議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

#### □議案第15号 井原市立学校管理規則の一部を改正する規則について

【伊藤教育長】次に、議案第15号井原市立学校管理規則の一部を改正する規則についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【藤井学校教育課長補佐】それでは、議案第15号の説明を申し上げます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ただいまの事務局の説明に対するご質問はありますか。

【藤井職務代理】春休みが実質1日増えるということでしょうか。

【伊藤教育長】お見込みのとおりです。全県で一番多いのが、25日終業式で26日から春

休みのパターンです。

【伊藤教育長】ほかにないようですのでお諮りします。議案第15号については、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】ご異議ないようですので、議案第15号は原案どおり可決しました。

□議案第16号 井原市就学前教育・保育施設のあり方検討委員会設置要綱について

【伊藤教育長】次に、議案第16号井原市就学前教育・保育施設のあり方検討委員会設置要綱についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【藤井学校教育課長補佐】それでは、議案第16号の説明を申し上げます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ただいまの事務局の説明に対するご質問はありますか。

【伊藤教育長】ないようですのでお諮りします。議案第16号については、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】ご異議ないようですので、議案第16号は原案どおり可決しました。

以上で、予定しておりました議事は、全て終了いたしました。

(5) その他

【伊藤教育長】その他として、委員のみなさんから何かございますか。

【西田委員】県のPTA連合会が解散したと報じられていましたが、井原市はどうでしょうか。

【伊藤教育長】今年度井原市PTA連合会の運営協議会に出席させていただきました。その際、市P連は、県のPTA連合会を昨年度脱退したと言われておりました。岡山県P連の全国でトップをきっての解散ということで、衝撃を受けられた方も多いと思います。

【服部委員】報道で、県Pと単Pは違って、それぞれの役割があるのに、県Pも単Pもひとつくりにされていて、不本意でした。PTA不要論がクローズアップされていました。

【伊藤教育長】PTAの役割とか、内容とかより、役員の負担感が全国的に出ているのはあると思います。

【藤井職務代理】保護者の意識の変化や家庭の状況の変化などあるのでしょうかね。

【奥田委員】なり手がなくなったら、組織も成り立たなくなりますからね。

【藤井職務代理】子どものためと思って、やっていたきたいが難しいのでしょうかね。

【服部委員】話は変わりますが、先日、郵便局で「忠魂碑」の冊子を見つけたのですが、遺族会が作られ、学校にも配られているとのことでしたが、芳井でしたら、遠足で行くところにもあるので、学校の方で、ぜひ活用していただきたいなと思います。素晴らしい本ができたなと拝見しました。

【藤井職務代理】「忠魂碑」が何か知らない世代が大きくなってきているので、意識してもらうためにも大切だと思います。

【奥田委員】先日、2023年度の教員の休職等が増加傾向にあるという報道がありました。井原市の状況は、いかがでしょうか。

【藤井学校教育課長補佐】該当になられる先生が生じる可能性が高い状況です。

【伊藤教育長】県教育委員会では、精神的な理由で休職等された方には、復職プログラムを活用することができるようになっており、最初は、週3日から始めるなどのならし期間を設けながら、支援しており、過去にも、この制度を活用して、復職された方もいらっしゃいます。

【伊藤教育長】他に無いようですので、事務局から何かありますか。

【岡崎教育総務課長補佐】本日の附議事項のうち、報告第16号及び議案第14号は、人事案件のため、非公開として議事録を作成させていただきます。なお、会議録の公開の可否については次回定例会で承認をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

— 各担当課長から教育委員会令和6年10月行事予定表により行事予定を説明 —

— 10月定例会を10月16日水曜日午後1時30分から、

403会議室で開催に決定 —

## (6) 閉 会

【伊藤教育長】以上を持ちまして、9月定例会を閉会いたします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。